

# 伝統文化から最先端技術まで印刷が活躍

## 江戸・TOKYO 展

中小企業のさまざまな技術力を紹介する「江戸・TOKYO：技とテクノの融合展」（東京信用保証協会主催）が10月2日、有楽町の東京国際フォーラムで開かれた。

伝統工芸や環境・エネルギー、金属・機械、先端技術、IT・情報通信、建設・住宅・セキュリティ、医療・福祉・健康、生活・サービス、食品製造・飲食などに関する分野の企業が集まり、取り組みを見せた。印刷会社の出展も10社ほどあり、幅広い分野での提案が見られた。ユニークないくつかを紹介する。

### 美しい印刷や加工の面白さ

日精ピーアールは、インクジェットプリント技術

を使った浮世絵の複製画を出展した。同社の複製画は、10色のインクで微細な色彩を表現。原面の紙の黄ばみや汚れを画像処理し、作品が作成された当時の絵面を再現することもできる。同展では葛飾北斎の「富嶽三十六景」や歌川広重の「東海道五十三次」の複製画を販売した。後者は、江戸時代に東海道を旅するさいにかかる日数や、描かれた宿場町に到着する時間帯も考慮し、絵の中の朝日や雪明かりなどの色合いにこだわった。



日精ピーアール 浮世絵の複製画。歌川広重の「東海道五十三次」は同作品完成180周年を記念して作成した。世界遺産になった富士山の絵も人気